【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成21年4月2日(2009.4.2)

【公表番号】特表2008-539228(P2008-539228A)
【公表日】平成20年11月13日(2008.11.13)
【年通号数】公開・登録公報2008-045
【出願番号】特願2008-508773(P2008-508773)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　45/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/12　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/708　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　14/025　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　45/00　ＺＮＡ
Ａ６１Ｐ　35/00
Ａ６１Ｋ　37/02
Ａ６１Ｐ　43/00　１２１
Ａ６１Ｐ　31/12
Ａ６１Ｋ　31/708
Ｃ０７Ｋ　14/025

【手続補正書】
【提出日】平成21年2月16日(2009.2.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
局部炎症を誘導することができる免疫修飾化合物を含む、ＨＰＶウイルス性抗原に対するＣＤ４＋Ｔ細胞反応について陽性と判定される被検者の肛門性器部上皮内腫瘍治療薬剤。
【請求項２】
被検者が、ＨＰＶ早期抗原に対するＣＤ４＋Ｔ細胞反応について陽性と判定されることを特徴とする請求項１記載の肛門性器部上皮内腫瘍治療薬剤。
【請求項３】
被検者が、ＨＰＶのＥ２、Ｅ６及びＥ７タンパク質から選択されるＨＰＶ早期抗原に対するＣＤ４＋Ｔ細胞反応について陽性と判定されることを特徴とする請求項１又は２記載の肛門性器部上皮内腫瘍治療薬剤。
【請求項４】
免疫修飾化合物が、Ｔｏｌｌ様受容体活性化化合物であることを特徴とする請求項１～３いずれか記載の肛門性器部上皮内腫瘍治療薬剤。
【請求項５】
Ｔｏｌｌ様受容体活性化化合物が、バクテリアリポタンパク質とそのアセチル体、バクテリアグリコリピッド、バクテリア外膜タンパク質、バクテリア熱ショックタンパク質、バクテリアの鞭毛又はフラジェリン、線毛、Ｂ群溶連菌熱不安定性溶解性因子（ＧＢＳ－Ｆ

）、スタフィロコッカスのモジュリン、グラム陽性ＬＰＳ又はリピドＡ、ＬＴＡ、グラム陰性ＬＰＳ又はＬＴＡ、マイコバクテリアリポアラビノマンナン、マイコバクテリアリポタンパク質、非メチル化ＣｐＧＤＮＡ、クロマチン－ＩｇＧ複合体、ｄｓＲＮＡ、ポリ（Ｉ：Ｃ）、ウイルス外殻又はウイルスエンベロープタンパク質、タキソール又はその誘導体、ヒアルロナンを含むオリゴ糖、フィブロネクチン、イミダゾキノリン、及び宿主に由来する熱ショックタンパク質からなる群から選択される化合物であることを特徴とする請求項４記載の肛門性器部上皮内腫瘍治療薬剤。

【請求項６】

Ｔｏｌｌ様受容体活性化化合物が、ＴＬＲ－７活性化化合物であることを特徴とする請求項４記載の肛門性器部上皮内腫瘍治療薬剤。

【請求項７】

ＴＬＲ－７活性化化合物が、イミキモド、R_{848}／レシキモド、ロクソリビン及びブロピリミンからなる群から選択されることを特徴とする請求項６記載の肛門性器部上皮内腫瘍治療薬剤。

【請求項８】

肛門性器部上皮内腫瘍が、外陰上皮内腫瘍（ＶＩＮ）であることを特徴とする請求項１～７いずれか記載の肛門性器部上皮内腫瘍治療薬剤。

【請求項９】

さらに、インターフェロン、サイトカイン及びケモカインからなる群から選択される炎症性経路に直接的に関連する化合物を含むことを特徴とする請求項１～８いずれか記載の肛門性器部上皮内腫瘍治療薬剤。

【請求項１０】

被検者が、薬剤を投与前又は投与中にＨＰＶ早期抗原に対するＴ細胞反応が活発に上昇した被験者であることを特徴とする請求項１～９いずれか記載の肛門性器部上皮内腫瘍治療薬剤。

【請求項１１】

Ｔ細胞反応が、ＨＰＶ１６のＥ２、Ｅ６又はＥ７の配列から選択されるＨＰＶ早期抗原配列を含み、１２～４５アミノ酸の長さのペプチドを投与することにより上昇したことを特徴とする請求項１０記載の肛門性器部上皮内腫瘍治療薬剤。

【請求項１２】

ペプチドが、Ｔ細胞エピトープを含み、ＩＮＦ－γ応答を誘発しうる以下のペプチドの群より選択されることを特徴とする請求項１１記載の肛門性器部上皮内腫瘍治療薬剤:

配列番号１の１－２２、３１－５２、４１－６２、４３－７７、５１－７２及び７７－９８の各アミノ酸ストレッチ、配列番号２の３１－７５、９１－１２０、１５１－１９５、２７１－３００、２８６－３１５、３０１－３３０、３１６－３４５及び３３１－３６５の各アミノ酸ストレッチ、配列番号３の３１－５２、８１－１０２、９１－１１２、１１１－１３２、１２１－１５８及び１３１－１５２の各アミノ酸ストレッチ。

【請求項１３】

さらに、ＣＤ４０受容体活性化分子を含むことを特徴とする請求項１０～１２いずれか記載の肛門性器部上皮内腫瘍治療薬剤。

【請求項１４】

さらに、４－１ＢＢ受容体活性化分子を含むことを特徴とする請求項１０～１３いずれか記載の肛門性器部上皮内腫瘍治療薬剤。